

# Global Express

SAMPLE vol. 6 2006 June, World Cup Game

グローバル・エクスプレス サンプル版第 6 号 2006 年 6 月発行

このアクティビティは(特)開発教育協会の総会(2006 年 5 月 27 日)で実施したものです

## ワールドカップ

この教材の著作権は(特活)開発教育協会に所属し、本誌の全部または一部を無断で複写・転載・引用・要約することは禁じます。本誌の「生徒用ワークシート」の複写による利用は、学問的な利用、教室・研究会等での利用に限ります。

### アクティビティ1: 数字で見るワールドカップ参加国

ワールドカップに参加する 32 カ国の基本情報を数字から捉えてみましょう。

#### ◆目的:

面積や人口などの統計を読み込んだうえで、参加国の中にも様々な“格差”があることに気付くこと。

#### ◆対象:

小学校高学年以上

#### ◆備品:

ワークシート(4 ページ目に掲載)、世界地図(または地球儀)

#### ◆所要時間:

20~30 分

#### ◆すすめ方:

- ① ワークシートを 1 人に 1 枚ずつ渡し、1~6 までの表が何の順番で作成されたものか考えてもらい、空欄を埋めてもらう。
- ② なかなか解答が想像できない場合、グループで考えたり、単位などヒントを与えたりしながら考えてもらう。
- ③ 答え合わせをし、意外だったこと、答えるのが難しかったものなどについて、感想を言い合い、ふりかえりをする。

#### ◆ワークシート回答:

- ① 人口 単位: 10 万人 出典: 財団法人世界の動き社『2005 年度版 世界の国一覧表』
- ② 国内総生産(GDP) 単位: 100 万 US\$ 出典: 財団法人世界の動き社『2005 年度版 世界の国一覧表』
- ③ FIFA(国際サッカー連盟) ワールドランキング(2006 年 5 月 17 日時点) 単位: 位
- ④ 人口に占める国外からの移住者(移民)の比率 単位: %  
出典: United Nations (2003) International Migration Report 2002
- ⑤ 軍事費 単位: 100 万 US\$ 出典: CIA, The World Factbook (2005 年 10 月現在)
- ⑥ GDP に占める軍事費の割合 単位: % 出典: CIA, The World Factbook (2005 年 10 月現在)

### ◆応用：

◇始める前に、参加国を世界地図上で探してみるとか、国旗当てクイズなどをするといっそう興味をもって取り組みます。

◇FIFA（国際サッカー連盟）には、国際オリンピック委員会（IOC）の202か国連加盟国の191よりも多い204か国・地域であることを話し、どうしてサッカーワールドカップが世界最大のスポーツイベントになったのか、なぜここまでサッカーが全世界で普及したのか考えてもいいでしょう。

◇他にも「面積」や「人口密度」、あるいは「識字率」「平均余命」「日本からの輸出入量」についての表を作成し、考えてもらうのもいいでしょう。その後の授業、プログラムの展開を考慮し、それに関連する表を付け加えると効果的です。

## アクティビティ2：日本代表チームをつくろう！

各国代表（厳密には協会単位なのでイングランドのように必ずしも国代表でない場合があります）がしのぎを削るワールドカップ。しかし、「国」代表といってもほとんどのチームが様々な民族・人種の選手で構成されています。自分であればどういう基準で代表チームを選考するか、考えてみましょう。

◆目的：「国籍」に関しての議論を通して、現在起こっている人種差別や外国人排斥についての問題を考える。

◆対象：中学生以上

◆備品：ワークシート

◆所要時間：30分～60分

### ◆すすめ方：

- ① 代表選手の選考に際して、人種差別や外国人排斥があったケースの新聞記事（例：毎日新聞 2006年4月11日「人種差別に厳罰方針」）を読ませ、グループメンバーで感想を共有する。
- ② AからXまでのカードセットを各グループに渡し、自分が日本代表チームのメンバーを選考する場合、どういった基準で選ぶか話し合う。
- ③ 「条件としてあったほうが良い or なくすべきだ」などの項目で分けるなどし、模造紙など大きめの用紙にまとめ、グループごとに発表してもらう。
- ④ 各グループの代表選考の発表を聞き、感じたことを全体で共有する。

### ◆参考データやふりかえりのポイント(アルファベットはカードに対応しています)

A. 日本語が話せる

B. 日本文化に通じている

C. 父親だけが日本人

D. 母親だけが日本人

→昭和59年の国籍法改正以前は「父系血統主義」（改正前の国籍法2条）とあって、父親が日本人であれば日本国籍が取得可能という方針でした。ただ、この場合だと父が厳格な生地主義をとる国の国民の場合、日本で生まれた子どもは無国籍になる問題などから、現在は「父母両系血統主義」に抜本的改正をしている。

H. 強烈なシュートが打てる

→ドイツで外国人排斥の気運が高まり高度人材（単純労働に従事する人材ではなく、高い技能を持った人材）に限って入国を認めるようなニュースと関連させて話をするといいでしょう。

I. 日本に帰化している

L. 3年以上、日本でプレーしている

→IRB（国際ラグビーボード）の規定では「3年以上その国のチームに所属する者は、その国の代表となる資格を有する」ことになっています。

O. 他国のサッカー代表になっていない

→FIFAの決まりごとで1か国の国代表としてプレー経験がある選手は他国の代表としてプレーできない可能性

があります（「21歳の誕生日を迎えるまでに1度だけ所属協会の変更を要求する権利がある。ただし、国際Aマッチ出場経験がなく、他の年代代表経験がある場合、2カ国のパスポートを持っていないなければならない」など）。

P. 国歌を歌える

→ポルトガル代表の中心選手であるデコ選手は、ブラジルから帰化した際に、ポルトガル人の代表選手から「国家も歌えない奴は代表に来るな」と言われ、問題になりました。

Q. 名前が漢字表記にしてある

→三都主（サントス）や闘莉王（トゥーリオ）の例があります。遡ればラモス瑠偉や呂比須ワグナーもそうです。

T. 日本を愛している

→「愛国心」をどう捉えるか考えることができます。

V. 現在、日本に住んでいる

→違法滞在ではあるが、生活に密着し、国内の人材としてなくてはならない人たちが範疇に入ってきます。米国内におけるスパニッシュ系移民の問題と絡めて考えてもいいでしょう。

W. 長いこと海外に在住していたが、近々帰国する

→中国残留孤児をどう考えるかという視点が出てきます。

X. 日本に留学している

→国体には留学生は出られないようです（参加資格「出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、留学生については、参加できない」）。

ただし、箱根駅伝と関連してくる「関東学生陸上競技連盟規約」では下記のようになっていますし、高体連の場合、留学生の大会出場が基本的には可能なようです。学生スポーツにおいて、優秀な留学生を配して好成績をねらうことの是非を問うことができます。

（外国人の資格取得）

第15条 日本以外の国籍を持つ加盟校競技者は、本国の陸上競技連盟より競技者資格および競技者参加許可に関する証明書を受け取り、本連盟に提出すれば、本規約第11条の定めにより本連盟に登録し、本連盟競技者の資格を取得することができる。

A. 日本語が話せる	B. 日本文化に通じている (茶道や書道等)	C. 父親だけが日本人	D. 母親だけが日本人
E. 仏教徒である	F. 配偶者が日本人	G. 二重国籍で日本の国籍がある	H. 強烈なシュートが打てる
I. 日本に帰化している	J. 在留資格がある	K. 三代までさかのぼって日本人の先祖がいる	L. 3年以上、日本でプレーしている
M. 税金を納めている	N. 日本で生れている	O. 他国のサッカー代表になっていない	P. 国家を歌える
Q. 名前が漢字表記にしてある	R. 顔・格好が日本人に似ている	S. 性格が素直である	T. 日本を愛している
U. 肌の色が一緒である	V. 現在、日本に住んでいる	W. 長いこと海外に在住していたが、近々帰国する	X. 日本に留学している

# 数字で見るワールドカップ参加国

注:「?」はデータ不明、②④⑤⑥のイングランドは、イギリスのデータ ©DEAR 開発教育協会

①

グループ	国家名	
e	アメリカ	2,970
f	ブラジル	1,807
f	日本	1,278
d	メキシコ	1,049
a	ドイツ	825
d	イラン	698
g	フランス	604
e	イタリア	573
b	イングランド	491
h	ウクライナ	482
g	韓国	480
h	スペイン	411
c	アルゼンチン	389
a	ポーランド	386
h	サウジアラビア	249
e	ガーナ	214
f	オーストラリア	199
c	コートジボワール	169
c	オランダ	162
d	アンゴラ	141
a	エクアドル	132
c	セルビアモンテネグロ	105
e	チェコ	102
d	ポルトガル	101
h	チュニジア	99
b	スウェーデン	89
g	スイス	72
b	パラグアイ	60
g	トーゴ	50
f	クロアチア	44
a	コスタリカ	43
b	トリニダードトバゴ	13

②

グループ	国家名	
e	アメリカ	10,881,609
f	日本	4,326,444
a	ドイツ	2,400,655
g	フランス	1,747,973
e	イタリア	1,465,895
h	スペイン	836,100
d	メキシコ	626,080
g	韓国	605,331
f	オーストラリア	518,382
c	オランダ	511,556
f	ブラジル	492,338
g	スイス	309,465
b	スウェーデン	300,795
a	ポーランド	209,563
h	サウジアラビア	188,478
d	ポルトガル	149,454
d	イラン	136,833
c	アルゼンチン	129,735
e	チェコ	85,438
h	ウクライナ	49,537
f	クロアチア	28,322
a	エクアドル	26,913
h	チュニジア	24,282
c	セルビアモンテネグロ	19,176
a	コスタリカ	17,482
c	コートジボワール	13,734
d	アンゴラ	13,189
b	トリニダードトバゴ	10,201
e	ガーナ	7,659
b	パラグアイ	5,814
g	トーゴ	1,759
b	イングランド	?

③

グループ	国家名	
g	トーゴ	61
d	アンゴラ	57
e	ガーナ	48
b	トリニダードトバゴ	47
h	ウクライナ	45
c	セルビアモンテネグロ	44
f	オーストラリア	42
a	エクアドル	39
g	スイス	35
h	サウジアラビア	34
b	パラグアイ	33
c	コートジボワール	32
g	韓国	29
a	ポーランド	29
a	コスタリカ	26
f	クロアチア	23
d	イラン	23
h	チュニジア	21
a	ドイツ	19
f	日本	18
b	スウェーデン	16
e	イタリア	13
b	イングランド	10
c	アルゼンチン	9
g	フランス	8
d	ポルトガル	7
h	スペイン	5
e	アメリカ	5
d	メキシコ	4
c	オランダ	3
e	チェコ	2
f	ブラジル	1

④

グループ	国家名	
h	サウジアラビア	26
g	スイス	25
f	オーストラリア	25
c	コートジボワール	15
h	ウクライナ	14
e	アメリカ	12
b	スウェーデン	11
g	フランス	11
c	オランダ	10
f	クロアチア	9
a	ドイツ	9
a	コスタリカ	8
b	イングランド	7
a	ポーランド	5
g	トーゴ	4
c	アルゼンチン	4
b	パラグアイ	4
d	イラン	3
h	スペイン	3
e	ガーナ	3
b	トリニダードトバゴ	3
e	イタリア	3
e	チェコ	2
d	ポルトガル	2
f	日本	1
g	韓国	1
a	エクアドル	1
d	メキシコ	1
h	チュニジア	0
d	アンゴラ	0
f	ブラジル	0
c	セルビアモンテネグロ	?

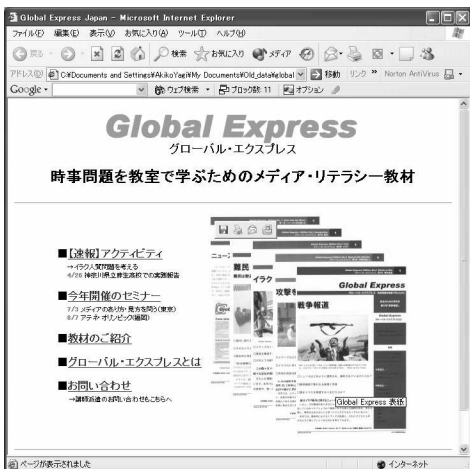
⑤

グループ	国家名	
e	アメリカ	370,700
f	日本	45,841
g	フランス	45,238
b	イングランド	42,837
a	ドイツ	35,063
e	イタリア	28,183
h	サウジアラビア	18,000
g	韓国	16,970
f	オーストラリア	16,650
f	ブラジル	11,000
h	スペイン	9,907
c	オランダ	9,408
d	メキシコ	6,043
b	スウェーデン	5,729
c	アルゼンチン	4,300
d	イラン	4,300
a	ポーランド	3,500
d	ポルトガル	3,498
g	スイス	2,548
e	チェコ	2,170
a	エクアドル	655
c	セルビアモンテネグロ	654
f	クロアチア	620
h	ウクライナ	618
h	チュニジア	356
d	アンゴラ	184
c	コートジボワール	180
b	トリニダードトバゴ	67
a	コスタリカ	64
b	パラグアイ	53
e	ガーナ	49
g	トーゴ	36

⑥

グループ	国家名	
h	サウジアラビア	13
d	アンゴラ	5
a	エクアドル	3
e	アメリカ	3
d	イラン	3
f	オーストラリア	3
g	韓国	3
g	フランス	3
f	クロアチア	2
b	イングランド	2
d	ポルトガル	2
e	チェコ	2
b	スウェーデン	2
f	ブラジル	2
g	トーゴ	2
a	ポーランド	2
a	コスタリカ	2
e	イタリア	2
h	チュニジア	2
c	オランダ	2
b	パラグアイ	1
b	トリニダードトバゴ	1
c	コートジボワール	1
h	ウクライナ	1
a	ドイツ	1
c	アルゼンチン	1
h	スペイン	1
g	スイス	1
d	メキシコ	1
f	日本	1
e	ガーナ	1
c	セルビアモンテネグロ	?

# Global Express ニュース



## ■レポート、感想をお寄せください

<http://www.globalexpress.jp/>

ウェブサイトからの教材ダウンロードも、とても多くの方にご利用いただいています。タスクチームでは、教材をご覧になった感想や、レポートを募集しています。

「こう使った」「ここが使いにくかった」「こんな風に応用させた」等々、どんなことでも結構です。

実践報告をウェブサイトの「実践レポート」コーナーに掲載することもできますので、ご希望の方は下記 DEAR 事務局(担当:西)までご連絡ください。

## ■グローバル・エクスプレス日本版 第1号～5号 好評領布中！

教育の現場で活用できるアクティビティが詰まったグローバル・エクスプレス。ぜひセットでお求めください。

**セット: 会員価格 3,360 円(税抜 3,200 円)、一般販売価格 4,410 円(税抜 4,200 円)**

- 第1号 ニュースに耳を傾ける(基本編)
- 第2号 攻撃を超えて(9.11 同時多発テロとイスラム)
- 第3号 難民(難民、日本における難民政策)
- 第4号 イラク(イラク問題、紛争の解決)
- 第5号 戦争報道(イラク戦争と報道)



### ➔ 「グローバル・エクスプレス サンプル版」について

- ・グローバル・エクスプレス・タスクチームが時事問題をテーマにした教材を速報アクティビティとして提案します。
- ・速報アクティビティへのご意見・ご提案・実践報告は大歓迎です。
- ・今年度、グローバル・エクスプレス・タスクチームには、ほとんど活動予算がありません。ご寄付も歓迎します。  
(ご寄付は、セミナー開催費用、冊子印刷費用、HP維持費、資料購入費などに利用いたします)

### ➔ この教材のご利用について

この教材の著作権は(特活)開発教育協会に所属し、本誌の全部または一部を無断で複製・転載・引用・要約することは禁じます。本誌の「生徒用ワークシート」の複製による利用は、学問的な利用、教室・研究会等での利用に限ります。

特定非営利活動法人 開発教育協会(DEAR)

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-17-41 富坂キリスト教センター2号館3階

Tel: 03-5844-3630 Fax: 03-3818-5940

E-mail: [main@dear.or.jp](mailto:main@dear.or.jp) URL: <http://www.dear.or.jp>

